

第3節 光化学スモッグによる汚染の現況

第1 光化学スモッグ発生の概況

光化学スモッグ予報等については、府域における気象要素、光化学オキシダント濃度の時間的变化、測定局の設置状況等を考慮して府域を7地域に区分し、その地域における光化学オキシダント濃度に応じて光化学スモッグ予報、注意報等を発令することとしている（図2-1-5、表2-1-20及び第3部第2章第5節「光化学スモッグ対策の推進」参照）。

府域における光化学スモッグの発生状況を、光化学スモッグ予報等の発令回数及び延べ発令時間並びに光化学スモッグによる被害の訴え状況からみると、予報等の発令回数及び延べ発令時間は、近年横ばいの状態にあり、昭和56年度においては予報13回、延べ46時間50分、注意報12回、延べ35時間20分であった。被害の訴え人数は9人で、昭和48年度のピーク時（3,122人）に比べると大幅に減少している（表2-1-21）。

発令回数及び延べ発令時間を地域別にみると、発令回数は、東大阪地域が予報10回、注意報9回とそれぞれ最も多く、延べ発令時間も予報39時間30分、注意報29時間10分とそれぞれ最も長くなっている（表2-1-22及び表2-1-23）。

また、大阪管区気象台が発表する光化学スモッグ気象情報については、昭和56年度では前年度より5回多い14回発表されているが、その翌日の光化学スモッグ予報等の発令状況は5回で、予報・注意報の発令がなかったのは9回であった（表2-1-24）。

図 2-1-5 光化学スモッグ予報等の発令地域区分 (昭和56年度)

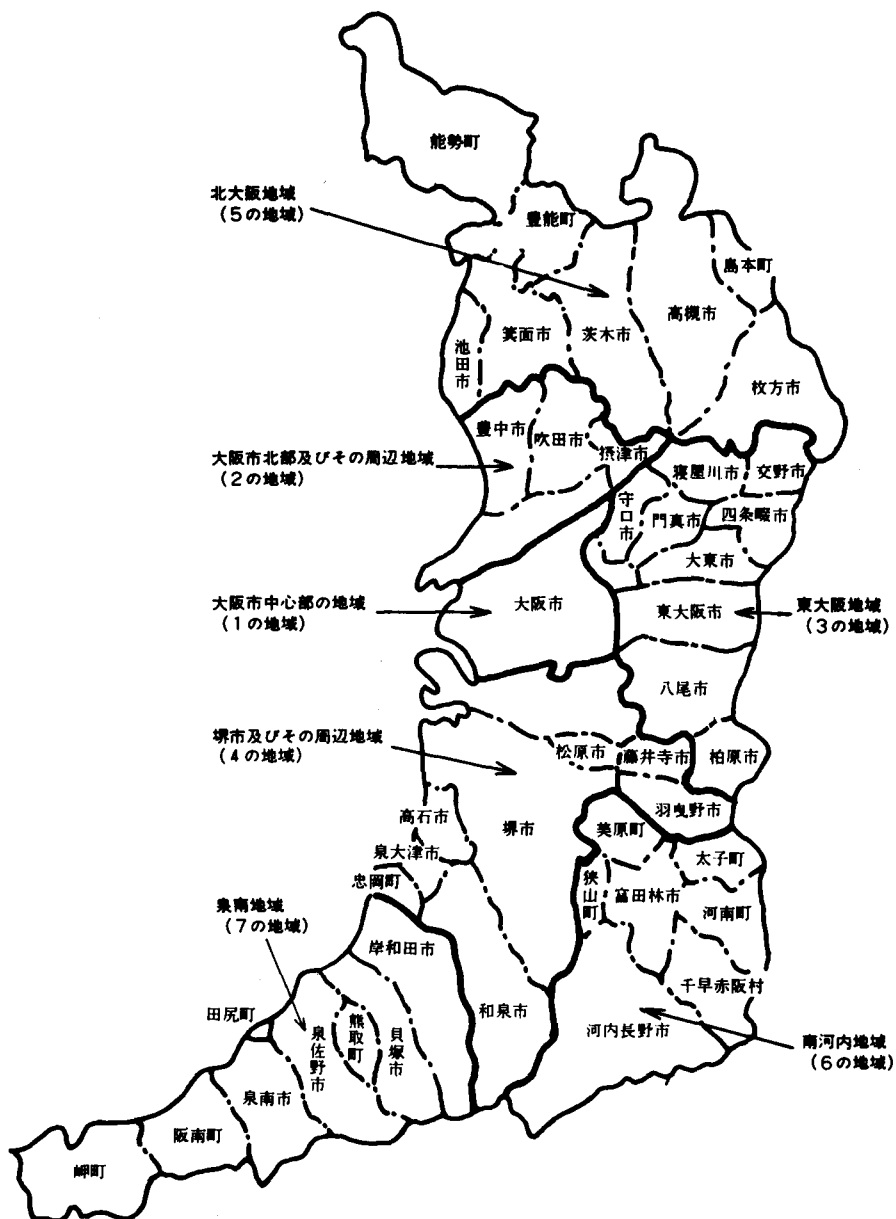


表 2-1-20 光化学オキシダント（光化学スモッグ）の緊急時発令基準

呼 称	発 令 基 準
光化学スモッグ予報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.08ppm以上で、かつ、気象条件からみて注意報の発令基準に達すると考えられるとき、又は、測定点の測定値等から判断して注意報の発令基準に達すると認められるとき
光化学スモッグ注意報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.12ppmに達した場合、又は、測定点の測定値等から判断して大気汚染がこれらの場合と同程度であると認める場合であって、かつ、気象条件からみて当該大気汚染の状態が継続すると認められるとき
光化学スモッグ警報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.24ppmに達した場合、又は、測定点の測定値等から判断して大気汚染がこれらの場合と同程度であると認める場合であって、かつ、気象条件からみて当該大気汚染の状態が継続すると認められるとき
光化学スモッグ重大緊急警報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.40ppmに達し、かつ、気象条件からみて当該大気汚染の状態が継続すると認められるとき

(注) 1 基準測定点等は次のとおりである。

(1) 基準測定点

公害監視センター、堀江小学校、勝山中学校、今宮中学校、此花区役所、難波中学校、淀中学校、淀川区役所、豊中市役所、吹田保健所、守口保健所、寝屋川市役所、布施保健所、東大阪市東支所、八尾保健所、大宮中学校、聖賢小学校、茨田北小学校、摂陽中学校、南稜中学校、府立大学、少林寺小学校、浜寺中学校、松原市役所、藤井寺市役所、泉大津保健所、高石中学校、枚方市役所、高槻市役所、茨木市役所、池田市役所、富田林市消防署、長野小学校、泉南府民センター、泉佐野保健所、貝塚市消防署

(2) 測定点

淀屋橋、摂津市役所、大東市役所、府立修徳学院、堺市役所、三宝小学校、金岡小学校、高石市公害監視センター、羽衣学園、高陽小学校、取石小学校、国府小学校、王仁公園、島本町役場、泉南市役所、岬町役場

2 この基準は、昭和53年4月1日から実施している。

表 2-1-21 年度別光化学スモッグ発生状況

年度	昭 48												55			56																
	48			49			50			51			52			53			54			55			56							
項目	予報	注意報	警報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入	予報	注意報	被害の 新 入				
年間発令・発生数	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人	48回	26回	1回	3,122人
年間発令・発令時間	229:10	123:20	2:00	—	154:30	73:30	—	112:50	67:40	—	72:45	39:40	—	46:00	33:00	—	39:40	28:20	—	46:50	35:20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4月	—	—	—	83	2	2	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5月	4	1	—	239	6	4	14	2	1	—	4	1	—	1	1	2	2	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
6月	9	5	—	870	6	3	148	7	7	4	4	3	—	1	1	—	4	3	325	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
7月	17	10	—	1,769	10	5	—	8	7	37	6	6	74	1	1	296	3	3	—	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
8月	9	8	1	132	9	5	—	9	5	—	5	5	2	7	6	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9月	5	1	—	12	6	3	—	5	3	—	1	1	1	3	3	77	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10月	4	1	—	17	3	3	—	2	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最も早い発令 (発生)日	5.1	5.1	8.11	4.23	4.27	4.27	4.27	5.10	5.11	6.9	5.13	5.27	7.6	5.25	5.25	5.25	5.12	5.29	6.6	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	5.27	
最も遅い発令 (発生)日	10.10	10.2	8.11	10.3	10.13	10.13	6.29	10.15	10.15	7.27	10.3	9.18	9.18	9.21	9.21	9.20	9.19	9.19	6.12	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	8.20	
1日最高の 被害新入	1,246人(7月5日)			117人(6月29日)			33人(7月8日)			53人(7月19日)			243人(7月6日)			324人(6月6日)			4人(7月17日)													
被害新入数	156件			9件			3件			11件			12件			6件			6件													
入院被害	1人			—			—			—			—			—			—													
光化学オキシダントの測定点	43			52			52			52			52			52			52													

表2-1-22 光化学スモッグ予報等地域別発令回数・
延べ発令時間の状況（昭和56年度）

（時間：分）

区分		1の地域	2の地域	3の地域	4の地域	5の地域	6の地域	7の地域
子報	発令回数	7	2	10	5	9	3	2
	延べ発令時間	23:10	7:10	39:30	18:30	29:50	10:20	5:50
注意報	発令回数	3	0	9	4	3	2	1
	延べ発令時間	8:40	0	29:10	11:40	6:40	5:30	2:00

（注） 1 注意報の延べ発令時間は、子報の延べ発令時間に含まれる。

2 発令地域の区分は次表のとおりである。

地域区分		地域の区分
区分の略称		
1の地域	大阪市中心部の地域	大阪市の区域のうち、西淀川区、東淀川区、淀川区、旭区、鶴見区、城東区、住吉区、住之江区、東住吉区及び平野区の地域を除く地域
2の地域	大阪市北部及びその周辺地域	大阪市の区域のうち、西淀川区、東淀川区及び淀川区の地域並びに豊中市、吹田市及び摂津市の地域
3の地域	東大阪地域	大阪市の区域のうち、旭区、鶴見区及び城東区の地域並びに守口市、門真市、寝屋川市、交野市、四条畷市、大東市、東大阪市、八尾市及び柏原市の地域
4の地域	堺市及びその周辺地域	大阪市の区域のうち、住吉区、住之江区、東住吉区及び平野区の地域並びに堺市、松原市、藤井寺市、羽曳野市、高石市、泉大津市、和泉市及び忠岡町の地域
5の地域	北大阪地域	枚方市、高槻市、茨木市、箕面市、池田市、島本町、能勢町及び豊能町の地域
6の地域	南河内地域	富田林市、河内長野市、美原町、狭山町、太子町、河南町及び千早赤阪村の地域
7の地域	泉南地域	岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南町、熊取町、田尻町及び岬町の地域

表 2-1-23 光化学スモッグ予報等発令状況 (昭和56年度)

年 月 日	曜 日	発令時刻～解除時刻	発令時間	(号)		発 令 地 域
				予 報	注意報	
昭56.5.27	水	11:50～15:50	4:00	1		1.2.3.4.5
		12:50～15:50	3:00			6.7
		12:50～15:50	3:00		1	1.3.4
56.6.6	土	12:50～17:20	4:30	2		1.3.4.5
		13:50～17:20	3:30		2	1.3.4
56.6.8	月	12:00～17:20	5:20	3		3.5
		12:50～17:20	4:30		3	3
		14:50～17:20	2:30			5
56.6.9	火	12:50～16:10	3:20	4		1.3.5.6
		13:50～16:10	2:20		4	3.6
56.6.16	火	11:20～15:50	3:30	5		3
		13:50～15:50	2:00			1.5
		11:50～15:50	4:00		5	3
56.6.19	金	13:20～16:50	3:30	6		3
		13:50～16:50	3:00			1
		13:50～16:50	3:00		6	3
56.7.17	金	13:50～17:50	4:00	7		3.4.6
		14:40～17:50	3:10		7	3.4.6
56.7.18	土	12:50～17:00	4:10	8		3
		13:50～17:00	3:10			1.2.4
		13:50～17:00	3:10		8	3
56.7.27	月	13:20～16:20	3:00	9		3.5
		13:50～16:20	2:30		9	3
56.8.9	日	14:20～16:50	2:30	10		5
		14:50～16:50	2:00		10	5
56.8.10	月	13:50～15:50	2:00	11		5
56.8.17	月	13:50～17:00	3:10	12		1.3.5
		14:50～17:00	2:10		11	1.5
56.8.20	木	13:00～15:50	2:50	13		4.7
		13:50～15:50	2:00		12	4.7

表 2-1-24 光化学スモッグ気象情報発表状況 (昭和56年度)

年 月 日	曜 日	気象情報(号)	発 表 時 刻	翌日の発令状況	
				予報(号)	注意報(号)
昭56. 6. 5	金	1	16:20	2	2
56. 6. 6	土	2	16:20		
56. 6. 8	月	3	16:20	4	4
56. 6. 9	火	4	16:20		
56. 6.16	火	5	16:10		
56. 6.19	金	6	16:10		
56. 7.17	金	7	16:10	8	8
56. 7.19	日	8	16:10		
56. 7.20	月	9	16:10		
56. 7.26	日	10	16:10	9	9
56. 7.27	月	11	16:10		
56. 8. 9	日	12	16:10	11	
56. 8.10	月	13	16:10		
56. 9. 7	月	14	16:10		

回数 \ 年度	昭 52	53	54	55	56
年度別気象情報 発表回数	27 (27)	22 (22)	8 (8)	9 (9)	14 (14)

(注) ()内は府域に係る発表回数である。

第2 光化学スモッグ発生の経年変化と気象状況

光化学オキシダントによる汚染状況の年度別推移を月別の光化学オキシダント最高濃度（1時間値）についてみると、昭和51年度以降はほぼ横ばいの傾向を示している。また、光化学オキシダント高濃度日数の推移をみると、昭和52年度から昭和54年度にかけては減少しているが、昭和54年度以降はほぼ横ばいに推移している（表2-1-25）。

気象状況の推移をみると、日最高気温の月平均値、月別日照時間・日照率、日降水量が0.5mm以上の月別日数及び月平均風速は表2-1-26のとおりである。

昭和56年度においては、6月前半及び7～8月の盛夏期には晴天・高温の日があり、光化学オキシダント濃度が高まった日があったが、5、9、10月には低温の期間が目立ち光化学オキシダント濃度が高まった日は少かった。

表 2-1-25 光化学オキシダントによる汚染状況の推移

(1) 年度別、月別光化学オキシダント最高濃度

ア 全測定点

(単位：ppm)

年度	区分	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	4～10月の最高値
昭48	濃度		0.15	0.22	0.20	0.22	0.25	0.16	0.18	0.25
	測定点		府大	高石市	東淀川	藤井寺	河内長野	浜寺	浜寺	河内長野
51	濃度		0.16	0.17	0.18	0.18	0.17	0.14	0.17	0.18
	測定点		茨田北	柏原	柏原	吹田	難波	高陽	枚岡	柏原
52	濃度		0.15	0.13	0.18	0.17	0.19	0.17	0.14	0.19
	測定点		府大	府大、貝塚	府センター南	大東、高陽	取石	泉佐野	府センター高陽、泉佐野	取石
53	濃度		0.16	0.20	0.18	0.19	0.20	0.17	0.16	0.20
	測定点		茨木	大東	大東	大東	柏原	茨木	柏原	大東、柏原
54	濃度		0.15	0.15	0.16	0.16	0.18	0.17	0.12	0.18
	測定点		金岡	守口	寝屋川本	大東	守口	取石	堀江、榑陽泉佐野	守口
55	濃度		0.14	0.14	0.20	0.16	0.17	0.17	0.13	0.20
	測定点		大東	寝屋川	大東、守口	茨屋木川	大東	柏原	取富田石林	大東、守口
56	濃度		0.12	0.15	0.18	0.17	0.15	0.15	0.11	0.18
	測定点		富田林	枚岡、八尾	枚岡北	藤井寺林	枚方	金岡	金岡	枚岡北

イ 基準測定点

(単位：ppm)

年度	区分	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	4～10月の最高値
昭48	濃度		0.15	0.17	0.20	0.22	0.24	0.16	0.18	0.24
	測定点		府大	守口	東淀川	藤井寺	寝屋川	浜寺	浜寺	寝屋川
51	濃度		0.16	0.16	0.17	0.18	0.17	0.14	0.17	0.18
	測定点		茨田北	泉佐野	貝塚	吹田	難波	堀江、榑陽泉佐野、貝塚	枚岡	吹田
52	濃度		0.15	0.13	0.18	0.16	0.17	0.17	0.14	0.18
	測定点		府大	府大、貝塚	府センター	茨田北	寝屋川	泉佐野	府センター泉佐野	府センター
53	濃度		0.16	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.13	0.18
	測定点		茨木	枚方	岸和田	枚岡、枚方池	八尾、浜寺	茨木	八尾	枚方
54	濃度		0.11	0.15	0.16	0.15	0.18	0.17	0.12	0.18
	測定点		府大	守口	寝屋川	池田	守口	泉佐野	堀江、榑陽泉佐野	守口
55	濃度		0.12	0.14	0.20	0.16	0.15	0.16	0.13	0.20
	測定点		寝屋川	寝屋川	守口	茨屋木川	泉佐野	枚方、府大	富田林	守口
56	濃度		0.12	0.15	0.18	0.17	0.15	0.14	0.10	0.18
	測定点		富田林	枚岡、八尾	枚岡北	藤井寺林	枚方	府大、貝塚	府大	枚岡北

- (注) 1 オキシダント濃度測定法改定に伴い、昭和52年度以前の測定値については0.8を乗じ、近似的に新測定法に基づく値に換算してある。
 2 測定点名は略称で次表のとおりである。
 3 測定点数は次のとおりである。

(全測定点数：48年度：43点、51～56年度：52点)
 (基準測定点数：48年度：30点、51～56年度：36点)

略称	測定点名	略称	測定点名	略称	測定点名
府センター	府公害監視センター	柏原	府立修徳学院	茨木	茨木市役所
堀江	堀江小学校	府大	府立大学	枚方	枚方市役所
難波	難波中学校	浜寺	浜寺中学校	池田	池田市役所
東淀川	東淀川区役所	摂陽	摂陽中学校	島本	島本町役場
吹田	吹田保健所	南稜	南稜中学校	富田林	富田林市消防署
守口	守口保健所	藤井寺	藤井寺市役所	河内長野	河内長野市役所
布施	布施保健所	泉大津	泉大津保健所	長野	長野小学校
枚岡	東大阪市東支所	金岡	金岡小学校	岸和田	泉南府民センター
八尾	八尾保健所	高石市	高石市役所	泉佐野	泉佐野保健所
寝屋川	寝屋川市役所	羽衣	羽衣学園	貝塚	貝塚市消防署
茨田北	茨田北小学校	高陽	高陽小学校	泉南	泉南市役所
大東	大東市役所	取石	取石小学校		

(2) 光化学オキシダント高濃度日数

ア 日最高濃度が0.12ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	3	4	8	18	11	7	3	54
51	5	7	8	11	10	5	5	51
52	3	4	8	14	11	11	6	57
53	1	11	9	11	11	3	1	47
54	0	4	4	4	10	4	3	29
55	1	6	8	6	5	7	1	34
56	1	3	9	8	8	4	0	33

イ 日最高濃度が0.16ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	0	1	5	7	7	1	1	22
51	1	1	2	2	1	0	2	9
52	0	0	5	2	3	1	0	11
53	1	2	2	3	3	1	0	12
54	0	0	1	0	3	2	0	6
55	0	0	2	2	0	3	0	7
56	0	0	3	2	0	0	0	5

ウ 日最高濃度が0.20ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	0	0	1	2	4	0	0	7
51	0	0	0	0	0	0	0	0
52	0	0	0	0	0	0	0	0
53	0	0	0	0	0	0	0	0
54	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	1	0	0	0	0	1
56	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 1 6～20時の値を基準測定点で集計してある。

(48年度：30点、51～56年度：36点)

2 オキシダント濃度測定法の改定に伴い、昭和52年度以前の測定値については0.8を乗じ、近似的に新測定法に基づく値に換算してある。

表 2-1-26 気象状況の推移 (大阪管区気象台)

(1) 日最高気温の月平均値(℃)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の平均
昭 48	21.4	23.3	26.4	33.2	33.0	27.0	22.0	26.6
51	19.2	23.2	26.8	30.4	31.7	27.0	22.3	25.8
52	20.4	24.2	26.6	32.6	32.3	29.9	25.2	27.3
53	19.3	24.5	28.1	34.0	34.5	29.9	23.1	27.6
54	18.4	24.2	28.6	30.6	33.5	29.1	24.5	27.0
55	18.7	24.6	27.8	29.7	30.6	27.4	22.7	25.9
56	19.0	23.6	27.3	32.7	32.3	27.6	21.8	26.3

(2) 日照時間(時間)、日照率(%)

年度 \ 月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の合計平均
昭 48	日照時間	180.7	240.2	185.2	272.3	190.3	142.3	1,370.9
	日照率	46	56	43	62	46	38	48
51	日照時間	168.3	194.2	135.5	213.9	225.4	168.1	1,288.6
	日照率	48	45	31	49	54	45	46
52	日照時間	199.5	228.7	119.6	225.2	182.6	180.9	1,371.8
	日照率	51	53	28	51	44	49	48
53	日照時間	202.8	204.2	195.1	280.2	279.1	171.6	1,510.9
	日照率	52	47	45	64	67	46	53
54	日照時間	181.5	261.1	177.5	183.8	223.5	146.6	1,382.6
	日照率	47	61	41	42	54	39	49
55	日照時間	192.5	221.3	128.2	145.3	118.4	180.3	1,151.7
	日照率	49	51	30	33	28	49	41
56	日照時間	187.6	220.9	146.9	240.5	200.5	166.5	1,327.6
	日照率	48	51	34	55	48	45	47

(注) 日照率 = $\frac{\text{日照時間}}{\text{可照時間}} \times 100(\%)$

(3) 日降水量が0.5mm以上の日数(日)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の合計
昭 48	13	6	10	2	8	13	10	62
51	11	12	18	10	12	14	9	86
52	15	9	15	7	9	13	3	71
53	10	9	14	5	3	11	8	60
54	17	9	13	8	8	16	6	77
55	12	13	14	16	19	12	13	99
56	13	13	16	9	7	8	9	75

(4) 平均風速(m/s)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の平均
昭 51	3.0	3.2	3.1	3.1	3.3	3.2	3.1	3.1
52	3.5	3.3	3.1	2.7	3.7	3.1	2.7	3.2
53	3.5	3.2	3.1	2.9	3.5	3.5	3.1	3.3
54	3.7	3.3	3.4	3.2	3.3	3.0	2.9	3.3
55	3.1	3.2	2.7	2.9	3.0	3.0	3.2	3.0
56	3.1	2.9	2.4	3.1	3.0	2.9	3.1	2.9

- (注) 1 表の数値は「大阪府気象年報」、「大阪府気象月報」による。
 2 4~10月の平均値は4~10月の値を平均化したものである。
 3 月平均風速については、昭和50年から測器が変更されたため、昭和48年度の値は割愛してある。

第3 光化学スモッグによる被害の訴えの状況

1 被害の訴え状況

昭和56年度における光化学スモッグによると思われる被害の訴えの届出数は、6件、9名であった。これは48年度（159件、3,122名）のピークに比べると大幅に減少し、また、55年度（6件、325名）に比べると、件数は同じであるが、届出人数は大幅に減少した。

本年度において、最初に被害の訴え届出があったのは5月27日で、前年度の届出に比べて10日早く、最後の届出は7月17日で前年度より約1カ月遅かった。

2 光化学オキシダント緊急時発令日及び地域別被害の訴え届出状況

本年度の被害の訴え届出6件のうち5件は光化学スモッグ注意報の発令中であったが、残る1件については光化学スモッグ予報等が発令されていなかった。また、地域別には3の地域（東大阪）で4件6名、4の地域（堺市及びその周辺）で1件2名、2の地域（大阪市北部及びその周辺）で1件1名の被害の訴え届出があった（表2-1-27）。

3 被害の訴え届出者とその症状

被害の訴え届出者9名のうち、中学生は2名、戸外作業従事者は7名であった。

被害の訴えの主な症状は、「目がチカチカする」9名（100.0%）、「涙がでる」4名（44.4%）、「せきがでる」4名（44.4%）、「のどがいがらい」4名（44.4%）、などであったが、いずれも洗眼、うがい、短時間の休息で回復し、一過性のものであった。

表 2-1-27 被害訴えの届出と光化学オキシダント

緊急時等の発令状況 (昭和56年度)

月日 (曜)	被害の訴え届出状況						発令状況				オキシダント濃度 最高値等
	人数	件数	内 容				予 報		注意報		
			地域	市	内 訳	人数	号	発令 地域	号	発令 地域	
5.27 (水)	1	1	3	東大阪市	枚岡郵便局	1	1	全域	1	1.3 4	① 0.15ppm 東大阪市東支所13時 ② 0.15ppm 東大阪市東支所13時
6.8 (月)	1	1	3	東大阪市	枚岡郵便局	1	3	3.5	3	3.5	① 0.13ppm 東大阪市東支所 ^{14時} 15時 ② 0.16ppm 寝屋川市役所 14時
6.9 (火)	1	1	2	吹田市	吹田郵便局	1	4	1.3 5.6	4	3.6	① 0.12ppm 吹田保健所 13時 ② 0.15ppm 布施保健所 12時
6.19 (金)	2	1	3	東大阪市	枚岡郵便局	2	6	1.3	6	3	① 0.16ppm 東大阪市東支所15時 ② 0.18ppm 茨田北小学校 14時
7.17 (金)	4	2	3	東大阪市	枚岡郵便局	2	7	3.4 6	7	3.4 6	① 0.16ppm 東大阪市東支所15時
			4	藤井寺市	藤井寺第3 中学校	2					① 0.17ppm 藤井寺市役所 15時 ② 0.17ppm 藤井寺市役所 15時 富田林市消防署15時

(注) ①は被害者訴え場所の最寄測定点の最高値、②は府下全域での最高値を示す。